

## 食べるカイコを久留米市で 新型コロナ経口ワクチンを開発

九州大学発のベンチャー企業「K.A.I.C.O.」は、カイコを利用して、新型コロナウイルスクワクチンを開発しています。9月に市内の福岡バイオインキュベーションセンターに研究所を開設。10月30日、市長に事業開始を報告しました。

同社は、注射によるワクチンではなく、錠剤といった簡単に飲むことができる経口ワクチンの開発などを行っています。

今後、久留米市内にさらなるバイオ産業の集積が期待されます。



左から、日下部宜宏九州大学副学長、大久保勉市長、大和建太代表取締役社長

## ドクターカーに参加 聖マリア病院からも運行



署名を行った島病院院長（左）と大久保市長（中央）と秋吉弘章消防長

聖マリア病院は、市のドクターカー事業に11月から参加することになり、10月29日に同病院で協定締結式を行いました。ドクターカーは重症患者の救命率の向上や後遺症の軽減のため、医師と看護師が救急車に同乗し、処置までの時間を短縮するものです。

同病院の島弘志病院院長は「久留米市には充実した医療体制があり、住みやすいまちだと思います。市民の皆さんの健康を守り、安心して生活できるように努力していきます」と述べました。

## 市政の動き

### 西鉄久留米駅東口再生へ 債権の譲渡先候補が決定



リバービルをはじめ、百貨店や多くのテナントが集まる西鉄久留米駅周辺

市は、10月29日に開催された市議会経済常任委員会で、第三セクター・久留米都市開発ビル株式会社に対して保有する約21億円の債権の譲渡先候補をリオ・コンサルティングと天神会の共同企業体に選定したことを報告しました。選定の理由は、市がFFGビジネスコンサルティングに委託し算定した債権実勢価格9600万円を大きく上回る購入価格や、今後の再整備への意欲、同三セクの経営改善の具体的な方策などを提示した点です。

同三セくは、昭和58年に再開

発で整備された西鉄久留米駅東口の商業ビル「リバービル」などを運営していましたが、テナント撤退などで平成14年に経営破綻。民事再生計画期間終了後も経営を改善できず、債権の回収が問題になっていました。31年に市監査委員から「債権の回収は事実上困難であり、解決に向けた決断をするべき」との指摘も。11月中旬に譲渡額を2億円とする仮契約を締結し、12月議会で関連議案を提案します。

◎商工政策課（☎0942・309134、FAX0942・309707）

## 久留米市表彰式

### 功労者など22人を表彰



受賞者と来賓の皆さん

11月3日に久留米シティプラザで市表彰式が行われ、市の振興発展に貢献した人やスポーツで優秀な成績を収めた人、文化芸術活動で優れた実績がある人など22人が表彰されました。

代表して城戸幸雄さんが「市の発展を願い、歩みが続けてきました。今後も頂いた栄誉を励みとして地域の発展のために尽力していきたい」と謝辞を述べました。表彰を受けた皆さんは次の通りです。（敬称略）

- 市功労者**
- 【社会福祉の増進など、市の振興発展に寄与】（社会福祉）江藤孝子（山本町）
  - 【坂本泰敏（長門石）佐藤敬一郎（つきは市）堤清之（大川市）吉田孝子（白ノ出町）文化振興】江口登（合川町）農業振興】大津留健次（日吉町）（体育振興）古賀治生（荒木町）中村和彦（上津町）松崎文雄（高良内町）
  - 【固定資産評価審査委員会委員

- として満12年以上在職】今村康孝（野中町）
- 【市消防団員として満30年以上奉職した功績顕著な人】青柳壽吉（御井町）緒方智也（安武町）國武健一（中央町）古賀敏（大橋町）城島義博（津福本町）富松良介（大善寺町）
- 【高い水準の国際規模の大会において優秀な成績を収めた人】

- （パラテコンドー）田中光哉（横浜市）
- 【文化芸術活動において優れた実績を収め将来を嘱望される人】（書道）石田洋子（本山）器楽）稲吉恵梨奈（津福本町）（華道）倉八環
- ◎総務課（☎0942・309052、FAX0942・309706）

### 人々の心に「美」を発信

#### 市功労者〈文化振興〉 江口登さん



私は50年前、洋画家の内野秀美先生に師事したことから芸術の世界に入りました。久留米連合文化会の会員として理事や副会長、美術展の審査員などを通し、文化芸術の向上に努めてきました。現在もさまざまな美術団体の活動をしながら、文化振興を図っています。賞を頂けたのは、多くの人からの指導と協力のおかげです。今年には新型コロナの影響があり、多くの美術展は中止になりましたが、今後も「芸術の旅」をまい進し続け、皆さんの心に美を発信していきます。